



豊橋・東三河まちづくりデザイン会議 早くも一年が過ぎ、2年目に入りました！

会場 WAC アグリカフェ
13時30分～16時

昨年7月から豊橋東三河地域のまちづくりの一環で市民の声を行政に届ける手段としてスタートした活動を今夏からは、さらに地域の課題を実際に

フィールドワークから検証する活動を地元の学生たちと一緒に始める予定でいます。現職が何であれ、一市民としての多くの市民のみならず

のご参加を期待しています。但し、定員は30名多くても40名までとします。第13回7月19日(土) ゲストスピーカー

今回は1周年記念で5氏の代表によるディスカッション形式で行います。近藤喜典氏(元豊橋市議会議員)、早川喬俊氏(元豊川市議会議員)、青山義明氏

(前蒲郡市議会議員)、中神清典氏(前田原市議会議員)、長田共永氏(新城市議会議員)によるテーマ「東三河の近未来について ぶっちゃけトーク」-医療・介護・農業・芸術+地域循環型経済と防災対策の市町村連携。

第14回8月30日(土) ゲストスピーカー 小野 悠氏(豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授) プロフィール:1983年岡山県生まれ 高校・大学在学中にアフリカ、アジア、中東、南米など世界70カ国

を訪問。東京大学大学院卒。東三河の女性ニューリーダーを求めて、価値観と行動力に多くの女性の方たちに刺激になればと企画しました。



テーマ「まちづくりの専門家からみた豊橋・東三河の魅力とは！」-女性研究者、子育て、アフリカ・アジアの視点から-



東三河の地域課題・生活課題を実現するための地域ファンド生活に困った方及び新しい起業家、女性起業家を応援します。

THFF

豊橋東三河未来基金

ご覧下さい。
<https://www.thff.jp>

寄付受付中

2025 年版 日本の農業を自然栽培オーガニックに変えていく活動に参加しませんか!!

日本の農業産出額1位の田原市、6位の浜松市、9位の豊橋市。この地域は通年でトップクラスの農業地帯です。しかし、残念ながら農業、抗生物質、成長ホルモンを使うことへの賛成はできません。

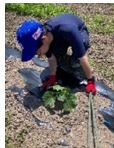
1990年代世界はオーガニックに移行して久しい状況です。いつからか中国産オーガニックは安くて安全に変わりました。(有機農地約222万ha 世界7位) 東京オリンピックでも選手に日

本産食品は食べられないと報道され、現在も何故か農産物を輸入して、生産性をあげる日本の現実。おかしいですね。WAC農園は、2007年から豊橋有機農業の会へ所属しながら畑作を中心に自然栽培を

続けています。農業を使わない農業への移行を、今農業産出額トップのこの地域だからできることにトライしませんか。畑と田んぼは自然栽培へ、牛、豚、鶏はゲージ飼から放牧

や平飼いへ業態移動が今必要とされています。安心安全な食料を、地産地消でまず、地元東三河に生活する人々を健康にしてください。さらに、多くの方にこの地域に食べにきて頂けるように

していきませんか。多くの共感できる方は非活動に参加してください!



★リクルート1
障害者就労継続支援B型所 10名程度
当初若かった障がい者メンバーも高齢化で別の部署に転籍したり、規模拡大によるメンバーの補充になります。B型ですが長期にわたってはA型工賃も可能です。

★ボランティア
登録制で月2日以上参加できる方
空いた時間に、WAC農園の活動をサポート頂ける方

10名程度

土曜日祝日歓迎

★リクルート2
農業支援員、農業指導員 3名程度
障害者支援の経験のある農業に興味のある方又は自然栽培の農業指導ができる方

★プロボノ
農業技術やIT技術を生かして外部から専門性を生かして参加いただける方

第2回トヨハシ・チャレンジ・アスリートカップ
11月22日(土)向山公園 エントリー受付中!

コラム

VOL. 80

「多様性・共生・フラットな視点 ひとつはひとりでは生きられない!」

6月中旬真夏 34℃の陽ざしが照りつける。熱中症警戒アラートが流れる。地球は沸騰している。この異常気象に人々はその態様に苦慮する中、人もその一部としてからだに警報アラートがなり続ける。

現存する生きものたちは驚くほどの多様性を示す。どれも40億年ほど前に海中にいた先祖細胞から生まれた仲間、その歴史を書き込んだのがDNA(ゲノム)である。DNAという物質は、決まったことを正確にやりながら、一方

で思いがけないこともする性質がある。すべての生き物は、DNAを読み解きながら生き続け、この多様性が今の私たちを生み出している。人間もこの多様な生きもののひとつであり、人間だけが特別な存在では

ない。人もライオンもアリもコケ、キノコ、バクテリアも各々が違う生き方をしているそこに順位は無くすべては平等でフラットな関係にある。他の生きものに対して上から目線で多様性を語るのではなく、私たち人も仲間として

多様性の本質を感じ取らないければ、決して暮らしやすい世界にはならない。その前段階として、人は人に対しての上から目線を無くす必要もある。共生社会も多様性の中にある。例えば、ミツバチと花との関係を見ても、

それぞれが懸命に生きようとすればお互いに相手が必要となる。ハチは自分と仲間や子孫が生きていくために必要な蜜や花粉を集めると、その行為が植物の子孫づくりに役立つ。



降りもあるような日々アップダウンのある天候にあった。その後の、関係者からの聞き取りでは、5月1日帰宅時隣人に自分の居室がわからなくなり尋ねていた。スタッフからは、3月に訪問した際に名前がわ

からない状況があったようだ。警察の検視からは、脳出血の診断も出ていた。どのような順序でどうなっていたのかは想像を膨らませるばかりであるが、とにかくお疲れ様でした。ご冥福をお祈りしたい。

Kさんとは4年前の5月に初めてお会いした。当時は名古屋にお住まいで、豊橋の市営住宅を探してみたい、身元保証の話から始まる。市営住宅への入居は26日の結果みごと落選。一般のアパートを探すこととなる。ご自身が5才か

5月2日(金)に、私どもが運営する井原のアパートが半壊し、1階に生活するKさん(78才)が急逝された。前日、牛川交番で自宅に帰れず保護され、警察官がアパートまで送り届ける。その後の出来事であった。翌朝、出火は6時

から30年間暮らしていた市内中岩田、井原が候補に上がるが、本人は、野依町の友人宅で居候をしながら、物件を探すと、本人の眼中に叶った住まいが、今回の住まいであった。同年11月に申込を行い、12月より居住が開始された。

16分、消火が7時14分、原因は、寝室兼居間の居室で、台所ではなかった。あくまで想像であるが、電気系のストーブ類が考えられる。この時期、気圧の影響で変わりやすい天気が続いていた。基本的には晴れであるが、局所的には雨

今回のケース、いくつかの節目がある。前日、牛川交番で保護された時、認知症と疑われる。その際に豊橋警察本庁で一時保護ができなかったのか……。また、警察官が住まいに送り届けた際に、玄関ドアまでの見守りができなかった

のか……。ゴールデンウィーク期間で病院の対応は難しい状況にあるが、一時保護、精神科病院との連携があれば、入院及び一定の処置が行われることとなる。それよりずっと前に、付近の住民による本人の認知症の状態把握はでき

なかったのか……。地域包括支援センターとのつながりはなかったのか……。自治会、民生委員との連携は……。当初、本人面談での既往歴は、白内障と不整脈とお聞きしていたが、その後の治療通院はされていたのか……。など???

が浮かぶ。私どもも、福祉の窓口ワンストップ相談を業務とする中で、Kさんの望まれた住まいの提供のみに終始したことが、それで良かったのか……。もしもの想定は論外であるが、牛川交番から私どもに直接連絡

があれば、対応はまた違った展開になっていたかも知れないと……。過去にも、任意後見の方で、短期間に3回警察保護で、道に迷い自宅に帰れない状況に遭遇し、すばやく有料老人ホームに繋げた経験がある。しかし、初動の問題点

も今は深く反省している。最初の出会いの際に、Kさんは、専業主婦ではなく働くひとりの女性であったこと。年金も月11万円あり、ご両親は他界されていて、兄弟姉妹とも音信不通で、本当にひとりぼっちで、老後の生活

医療・福祉・農業・芸術
地域のプラットフォーム
Society5.0&Community
WACNET.
2025.9.1
OPEN
〒440-0823 愛知県豊橋市南瓦町 46 瓦ビル

吉田志塾 令和7年
ヨシ ダ シ ジュク 1期生募集中!
人をつくり、時代をつくり、地域を変え、国を変え、世界を変えていく。
共生時代を生きる新しい起業家を創ってきたい。
日時/2025年10月～2026年7月
1泊2日 計10回
会場/WACビル2F 研修室(豊橋市南瓦町14-1)
参加費/入会金 20,000円
初年度 受講料 300,000円(資料代・昼食代)
交流金費・宿泊代別途 2年3年目指導料無料あり
定員/10名(最悪開塾人数8名)
※申込先着 申込/申込書を FAX
問合せ/吉田志塾 TEL:0532-52-4315(WAC 総合受付)
FAX:0532-53-0003
E-mail:m.kato@wacnet.jp

安全安心な自然食ランチをお楽しみ下さい
予約制
健康の泉 水素水 無料提供 ※ボトル1000円/本 初回のみ必要となります!

MENU 価格(税込)
・コーヒー (HOT・ICE) 500円
・ティー (HOT・ICE) 500円
・ソフトドリンク (オレンジ・リンゴ等) 600円
・ハーブティー (HOT・ICE) 600円
・カレーランチ (ドリンク付) 1500円
WAC agricafe
〒440-0823 豊橋市南瓦町 14-1 TEL 0532-52-4315

公苑に出かけてみた。この季節は雪景色に温泉に入るサルは見られなかったが、繁殖時期が親子のサルたちが愛らしく、サルたちの思い思いにふるまう生態はみごとで、ほとんど人を怖がらないし、逃げない真横で観

察できる一種族 160頭。もちろんそこには人も動物、昆虫、植物などが生息し日々の暮らしがある。今、私たちひとりひとりは、断絶され、最後はひとり、当たり前のように見えているが、本当にそうなのであろうか。人が小集団

をつくり生き抜き、変化してきたことを想起せば、近未来の共生社会は、ひととひとがフラットな関係を保ちながら、ひとりひとりが役割を果たす社会に向けて、さらに進化していく必要があるのではないだろうか。

さらにいえば、すべての生きものが共に生きていける社会こそがめざす社会ではないだろうか。真逆にどんどん進み続ける今の日本「わかっていけるけどやめられない」「やめられない」と、言葉のフレー

ズのごとく、何も考えず進むこの国のリーダーに向かい苦言を呈したい。宇宙から見た地球に境界はないのに、国境をつくり戦争をして命を奪う人間社会を見る時、生きものであることを思いだしたらもっともっと暮らし

やすくなることであろう。海に40億年ほど前から暮らしていた生きものが5億年ほど前に上陸し、シアノバクテリアと菌類の働きで、そこに土が生まれ、土のあるところに植物が森をつくり、昆虫、四足動物、鳥などと暮らす。

そこは多様性で、あり共生であり、フラットであった。それぞれの特徴を生かしささあいきいていく。もう一度ひとりひとりと原点に帰り生きてみたい。
加藤政実